

# 「新佐野市のかたちづくり」から 「佐野市のまちづくりの第2ステージ」へ

— 市長の施政方針説明と質疑が行われました —



▲ 岡部正英市長

4期目を迎えた岡部正英市長は、6月定例会において施政方針を述べました。これに対し、飯田昌弘議員（蒼生会）、岡村恵子議員（日本共産党議員団）、菅原達議員（公明党議員会）、横田誠議員（新風）及び篠原一世議員（政友みらい）（以上質疑順）の5人がそれぞれの会派を代表して質疑を行いました。

## 施政方針に対する質疑

**A** 公立保育所の安定性と民間保育所の効率性のそれぞれよい点を生かした保育園の整備運営を図り、待機児童ゼロ、保留児童の縮減に努めます。  
義務教育の充実策については、9年間を一体的に捉え、学びの系統性や、連続性を重視した教育を展開します。児童生徒の学力アップ策については、小学校高学年からの教科担当制の導入を考えています。体力アップ策については、小学校高学年からの部活動の参加や外部指導者の活用を考えています。

**Q** 保育行政の抜本的な見直しによる待機児童ゼロに向けた取り組みと、保留児童の具体的な解決策を伺いたい。また、平成32年4月開校となるあそ野学園義務教育学校の義務教育の充実策、児童生徒の学力、体力アップ策について伺いたい。



飯田 昌弘 議員(蒼生会)  
「女性と子どもと高齢者が輝くまち佐野」について

## 「佐野市のまちづくりの第2ステージ」

### ●リーディングプロジェクト

- 観光立市 ●スポーツ立市
- 産業・文化立市

### ●市民が輝くまち『佐野』を実現する5つの柱

- ①安定した質の良い雇用あるまち佐野
- ②新たな流れを創出し活力のあるまち佐野
- ③女性と子どもと高齢者が輝くまち佐野
- ④安全な暮らし安心な環境のあるまち佐野
- ⑤地域主権を確立し「自立」するまち佐野